

## ガバメントクラウド以外の環境へ移行することに関する公表資料

令和8年1月8日

次の本市の標準準拠システムが、本市専用のクラウド環境（以下「プライベートクラウド」という。）へ移行するため、「デジタル基盤改革支援補助金（地方公共団体情報システムの標準化・共通化に係る事業）事務処理要領」（地方公共団体情報システム機構）に基づき、下記のとおり、国が整備した全国的なクラウド環境（以下「ガバメントクラウド」という。）を利用した場合との性能面、経済合理性等の比較結果を公表します。

小野市長 蓬萊 務

## 1. 標準準拠システム

| No | システム名    | 取り扱う標準化対象業務 |
|----|----------|-------------|
| ①  | 戸籍システム   | 戸籍          |
| ②  | 戸籍附票システム | 戸籍附票        |

## 2. 性能面等比較結果

| No | 比較項目                 | プライベートクラウド | ガバメントクラウド |
|----|----------------------|------------|-----------|
| ①  | 非機能要件の適合             | ○          | ○         |
| ②  | データセンターの物理的所在地       | 日本         | 日本        |
| ③  | 情報資産の国外持出制限の有無       | 有          | 有         |
| ④  | ガバメントクラウドとのデータ連携の可否  | ○          | -         |
| ⑤  | 裁判管轄が国内で契約が日本法に基づくもの | ○          | ○         |

- ①：戸籍情報システム・戸籍附票システムにおいて、デジタル庁「地方公共団体情報システム非機能要件の標準」を満たしうるクラウド環境を利用します。
- ②：利用システムの仕様として、「クラウドサービス事業者のデータセンターは、日本国内に立地されたデータセンターに限られる。」と規定されています。
- ③：戸籍法等の各種法令や通達等に基づき、一切行いません。
- ④：本市庁内ネットワークを介して、必要となる情報についてガバメントクラウドとのデータ連携を行います。
- ⑤：利用システムの利用契約において、「本契約は日本国法を準拠法とし、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。」と規定しています。

### 3. 経済合理性の比較結果

#### 【比較する経費の詳細】

- ・経費 A：標準準拠システムをプライベートクラウドへ移行した場合の経費
- ・経費 B：標準準拠システムをガバメントクラウドへ移行した場合の経費

#### 【経済合理性比較表】

①：イニシャルコスト

単位：円（税抜）

| 経費区分            |                     | 経費 A       | 経費 B       | 差額（A-B）    |
|-----------------|---------------------|------------|------------|------------|
| カスタマイズ費         |                     | 0          | 0          | 0          |
| 環境構築費           | ガバクラ等上の稼働環境設定       | 1,200,000  | 3,200,000  | △2,000,000 |
|                 | 標準準拠システム利用に必要な初期設定  | 2,400,000  | 2,400,000  | 0          |
|                 | システム運用テスト           | 1,440,000  | 1,440,000  | 0          |
| データ移行費          | データクレンジング           | 1,920,000  | 1,920,000  | 0          |
|                 | データ抽出               | 240,000    | 240,000    | 0          |
|                 | データ移行               | 2,420,000  | 6,420,000  | △4,000,000 |
| 他システム連携機能構築作業費  | 関連システムとの連携プログラム等の修正 | 480,000    | 480,000    | 0          |
|                 | 関連システムの稼働環境への接続設定等  | 480,000    | 480,000    | 0          |
| 操作マニュアル作成・職員研修費 | 操作研修                | 480,000    | 480,000    | 0          |
| プロジェクト管理費       |                     | 0          | 0          | 0          |
| イニシャルコスト計       |                     | 11,060,000 | 17,060,000 | △6,000,000 |

## ②：ランニングコスト（60 カ月分）

単位：円（税抜）

| 経費区分      |             | 経費 A       | 経費 B       | 差額（A-B）    |
|-----------|-------------|------------|------------|------------|
| 作業費       | システム運用作業（１） | 14,970,000 | 18,450,000 | △3,480,000 |
|           | ハードウェア保守作業  | （１）に含む     | 0          | 0          |
|           | その他外部委託費    | （１）に含む     | 0          | 0          |
|           | 作業費計        | 14,970,000 | 18,450,000 | △3,480,000 |
| 物品費       | ハードウェア賃料    | 0          | 0          | 0          |
|           | ハードウェア保守費   | 0          | 0          | 0          |
|           | ソフトウェア賃料    | （１）に含む     | 0          | 0          |
|           | ソフトウェア保守費   | （１）に含む     | 0          | 0          |
|           | 通信回線費       | 0          | 1,200,000  | △1,200,000 |
|           | クラウド利用経費    | 15,960,000 | 19,200,000 | △3,240,000 |
|           | 物品費計        | 15,960,000 | 20,400,000 | △4,440,000 |
| ランニングコスト計 |             | 30,930,000 | 38,850,000 | △7,920,000 |

## ③：トータルコスト

単位：円（税抜）

| 経費区分             | 経費 A       | 経費 B       | 差額（A-B）     |
|------------------|------------|------------|-------------|
| イニシャルコスト         | 11,060,000 | 17,060,000 | △6,000,000  |
| ランニングコスト（60 カ月分） | 30,930,000 | 38,850,000 | △7,920,000  |
| 合計               | 41,990,000 | 55,910,000 | △13,920,000 |